

第2回 第七中学校・第九中学校統合新校推進協議会後に提出された意見について

第3回統合新校推進協議会 資料1
令和4年6月24日
統合新校推進協議会事務局

1 提出意見・質問一覧

意見や質問は提出された順に記載しています。また、提出された意見や質問の団体名・個人を特定するような表現については、個人情報保護等の観点から一部省略しています。

提出番号	意見・質問
1	校地決定について、条件を見るかぎり、どちらになっても充分とはいかず、ある程度の妥協をしての決定として受け入れると思う。校地とならなかったほうの施設をどう活かすかに非常に興味があり、「区全体の施設」となるより、新設校の第2キャンパスのようにしてくれたら良いと思います。そういったことについても協議会にかけていただきたいです。
2	教育環境が整っていれば第七中学校・第九中学校どちらでもよい。決定的な強い選択は我々では難しい。跡地は小学校建て替えの種地となるようだが、長い目で見てどんな施設が出来るか非常に興味がある(音楽ホールとか)。清水池公園近辺では、建築する際に池に近いこともあり水が出る。たとえば一階部分を半地下にし、校舎部分を節約できれば広いグラウンドの確保も可能なのではないか。いずれにしても、建築のプロのご意見を先に伺いたい。
3	合併して、新校舎ではない方の施設はどのような物を作るのか、大筋でもわかればと思います。区の施設なのか、売却なのか、学校がなくなった空き地はなにになるのかで、判断材料としては変わってくると思います。
4	今まで協議会委員の意見を聞くことで進行していますが、基本である子供たちの意見を聞かないことが気になるし、聞かなくては一方的なことになり、目黒区らしい優しさが失われることになります。主役を忘れないように頼みます。学校統合は一方が残り、一方が無くなるという悪いイメージがあるが、お互いの良いところをどちらも生かす、今までにない統合の仕方として考えられないでしょうか。運動するための校庭も含め、学びの場としてかなり狭い敷地であるため、せっかく一緒になるのであるなら、一方を学術の場、一方をスポーツの場として残すなど、予算に捉われず、新しい発想で伸び伸びと教育するのも一案だと思います。迎合ではない目黒らしい教育のあり方を出してほしいと思う。子供は、国の将来です。地域から発するのが基本と信じます。
5	各地域の団体が各中学校で定期的に行っていた活動(スポーツイベント)、お祭り等の地域行事の受け皿(場所)を準備する必要があるのかもしれない。
6-1	第九中学校校地だと西小山駅、洗足駅から徒歩で行けて交通の便はよいと思います。今後は全国的に、部活の顧問を外部委託にする傾向もあるようですし。でも生徒側の通いやすさとなると第九中学校校地は目黒区のはじっこなので、また違うかもしれませんが、合併するにあたり学力に差がないようにしていただきたいです。定期テストの問題の難易度、内申点のつけ方に大きな差が出ないように、連携していただきたいです。
6-2	どちらでも構わない。
6-3	第八中学校、第十一中学校(の統合新校)がどちらになるか、同時に調整してほしい。第七中学校、第八中学校は距離も近く両方統合新校となると通学距離が長いからと隣接学区への通学を選ぶことも難しい場合があるのではないか。
7	小中連携を考えると小学校の野球とサッカーくらいはできるようなグラウンド環境が望ましいと思います。学区を変えることはしたくないのでしょうか。両校から最長の家庭位置ですが、第九中学校校地にした場合、目黒通り沿いが最長ですが、その辺りは別の中学校(大鳥中学校? 目黒中央中学校? 第八中学校?)でフォローすることは可能なのでしょうか。第七中学校を校地にした場合、洗足駅近辺が最長ですがそこは品川区、大田区になるのでフォローできません。第九中学校の校地になった場合、第七中学校区が目黒通り近辺の遠い家庭は他の中学校へ行ける暫定的な学区にするのはどうでしょう。ただ、目黒中央中学校にはキャパの問題がある気がしますが。第九中学校の校地にしたほうが目黒区全体を見るとバランスがいいように思います。第七中学校だと学校が区の真ん中に集まりすぎている気がします。区の施設を真ん中に集めるのは良いことだと思います。学校こそ目黒区の外側で、第七中学校跡地を区民の集まる施設にするのはどうでしょう。区民施設は中央のほうが使い勝手はいいと思います。バスも通りやすいと思いますので。第九中学校校地のほうが土地に高低差があるとのことで工事の費用が高くなりそうですが、その分校舎や施設の費用を圧迫するようだと第七中学校校地にしたほうがより良い校舎ができる気がします。それはあくまで校舎だけの話です。ただ、第九中学校校地のほうが敷地面積が広いので、上記の小学生が使えるグラウンドの状況も考えると第九中学校校地のほうが広いのでいい学校になりそうです。そういう意味で費用がどうなるのか気になります。学校統合に関してある程度の予算はとっているとして、高低差の予備工事など予備費でどうにかるのであれば、第九中学校を校地にしたほうが良いと思います。

2 質問への回答

1の意見・質問のうち、質問に関する回答を以下にまとめています。

NO	提出番号	意見・質問	質問への回答
1	2	(清水池公園近辺では、建築する際に池に近いこともあり水が出る。) たとえば一階部分を半地下にし、校舎部分を節約できれば広いグラウンドの確保も可能なのではないか。いずれにしても、建築のプロのご意見を先に伺いたい。	原則として、建築空間は、通風、採光、居住環境、コストの面で地上が望ましいと考えています。また地下空間では、豪雨時の道路からの浸水や下水の逆流などといった浸水被害の恐れが常につきまといまいます。しかし、土地の有効利用といった考えから地下空間を採用するケースもあります。設計を進める際には、様々な創意工夫によって学校として最善の環境をつくることを考えていますので、地下空間の採用も考え得る手法の一つですが、地下空間は最低限にしたいと考えています。
2	3	合併して、新校舎ではない方の施設はどのような物を作るのか、大筋でもわかればと思います。区の施設なのか、売却なのか、学校がなくなった空き地はなにになるのかで、判断材料としては変わってくると思います。	第3回協議会資料2参照。
3	4	今まで協議会委員の意見を聞くことで進行していますが、基本である子供たちの意見を聞かないことが気になるし、聞かなくては一方的なことになり、目黒区らしい優しさが失われることとなります。主役を忘れないように頼みます。	今後の協議事項である統合新校の教育活動や交流活動等の検討にあたって、アンケートの実施など子どもたちの意見を聴く機会を設けてまいります。また、令和5年度以降、統合新校の学校づくりを具体的に進めていきますが、校章、校歌、標準服等の検討、選定に子どもたちが参加する機会を設けていく予定です。
4	4	学校統合は一方が残り、一方が無くなるという悪いイメージがあるが、お互いの良いところをどちらも生かす、今までにない統合の仕方として考えられないでしょうか。運動するための校庭も含め、学びの場としてかなり狭い敷地であるため、せっかく一緒になるのであるなら、一方を学術の場、一方をスポーツの場として残すなど、予算に捉われず、新しい発想で伸び伸びと教育するのも一案だと思います。迎合ではない目黒らしい教育のあり方を出してほしいと思う。子供は、国の将来です。地域から発するのが基本と信じます。	第3回協議会資料2参照。
5	5	各地域の団体が各中学校で定期的実施していた活動(スポーツイベント)、お祭り等の地域行事の受け皿(場所)を準備する必要があるのかもしれない。	第3回協議会資料2参照。
6	6	第八中学校、第十一中学校(の統合新校)がどちらになるか、同時に調整してほしい。第七中学校、第八中学校は距離も近く両方統合新校となると通学距離が長いからと隣接学区への通学を選ぶことも難しい場合があるのではないかと。	統合新校の位置については、それぞれの協議会で協議をしております。なお、第八中学校・第十一中学校の協議会の状況は、協議会日より、会議録、会議資料を区のホームページにおいて公表いたします。また、適宜情報提供をさせていただきます。
7	7	学区を変えることはしたくないのでしょうか。両校から最長の家庭位置ですが、第九中学校校地にした場合、目黒通り沿いが最長ですが、その辺りは別の中学校(大鳥中学校?目黒中央中学校?第八中学校?)でフォローすることは可能なのでしょうか。第七中学校を校地にした場合、洗足駅近辺が最長ですがそこは品川区、大田区になるのでフォローできません。第九中学校の校地になった場合、第七中学校区の目黒通り近辺の遠い家庭は他の中学校へ行ける暫定的な学区にするのはどうでしょう。ただ、目黒中央中学校にはキャパの問題がある気がしますが。第九中学校の校地にしたほうが目黒区全体を見るとバランスがいいように思います。第七中学校だと学校が区の真ん中に集まりすぎている気がします。	通学区域については、原則として統合する各校の通学区域を合わせたものとしませんが、必要に応じて通学区域の一部変更、調整区域の設定を行うものとしています。なお、区では、隣接中学校希望入学制度を設けており、希望により各校の受入人数の範囲内で隣接する通学区域からの入学が可能です。第七中学校と第九中学校の統合新校の通学区域からは、目黒中央中学校、大鳥中学校及び第八中学校と第十一中学校の統合新校となる予定です。基本の受入人数は35人ですが、学校運営上可能な範囲内での受け入れとなり、目黒中央中学校及び大鳥中学校については、生徒数の増加により近年は受入人数を35人未満としています。
8	7	第九中学校校地のほうが土地に高低差があるとのことで工事の費用が高くなりそうですが、その分校舎や施設の費用を圧迫するようだと第七中学校校地にしたほうがより良い校舎ができる気がします。それはあくまで校舎だけの話です。ただ、第九中学校校地のほうが敷地面積が広いので、小学生が使えるグラウンドの状況も考えると第九中学校校地のほうが広いのでいい学校になりそうです。そういう意味で費用がどうなるのか気になります。学校統合に関してある程度の予算はとっているとして、高低差の予備工事など予備費でどうにかなるのであれば、第九中学校を校地にしたほうがいいと思います。	第九中学校では、敷地と道路との間に高低差があり、擁壁改修のための工事費が必要となります。しかし、この費用によって、校舎の整備費を削減することは考えておりません。どちらの敷地であっても、一定の品質を確保した校舎整備を行ってまいります。